

高める

守る

輝く

あいち社会資本整備方針2025

(実行期間：2021年度～2025年度)

取組状況報告書

2022/2023

愛知県建設局、都市・交通局、建築局

取組状況報告書の作成趣旨

- 2020年12月に作成した『あいち社会資本整備方針2025』の進行管理として、毎年度、取組状況報告書を作成。
- 2025年度における本県の社会資本の姿が具体的にイメージできるように設定した49の取組指標について、進捗状況のフォローアップを実施し、マネジメントの徹底に取り組んでいく。

取組状況報告書の構成

- 『あいち社会資本整備方針2025』では、以下の3つのテーマに沿って取組を進めることとしている。
- 各テーマ別に、取組の全体を総括するとともに、49の取組指標について、指標ごとに個表を作成し、前年度の実績と目標に向けた見通し、主な取組箇所をまとめている。

<3つのテーマ>

1 あいちを高める

- 日本の成長を牽引する愛知の国際競争力を強化し、地域の活力を創出する「あいちを高める」取組を計画的に進めていく。

2 あいちを守る

- 地震・津波、風水害などから県民の生命・財産を守り、安全で安心な生活を支える「あいちを守る」取組を計画的に進めていく。

3 あいちが輝く

- 地域が魅力にあふれ、県民が快適に暮らすことができる持続可能な社会を実現する「あいちが輝く」取組を計画的に進めていく。

取組を支える方策

- 3つのテーマを支える横断的な方策についても取り組んでいく。

あいちを高める

ジブリパークの開園に向けた愛・地球博記念公園の整備推進、リニア中央新幹線の整備促進、名古屋駅のスーパーターミナル化及び中部国際空港の将来構想の推進など、引き続きビッグプロジェクトを前進させた。

さらに、リニア大交流圏の形成がもたらすインパクトを最大限に波及させるため、名豊道路や西知多道路などの広域道路ネットワークの整備、名古屋港、衣浦港、三河港の港湾物流機能の強化などを進めた。

あいちを守る

激甚化・頻発化する風水害対策として、流域治水によるハード・ソフト一体となった浸水被害対策などの推進、切迫する大規模地震等への対策として、インフラ施設の耐震化や無電柱化を推進した。

また、予防保全型メンテナンスへの転換による橋梁や水門などのインフラ施設の老朽化対策を推進した。



▲愛・地球博記念公園(長久手市)の整備



▲西知多道路(常滑市)の整備

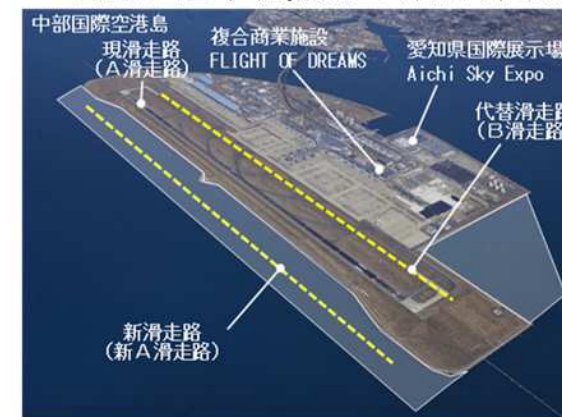


▲名古屋港の耐震岸壁等の整備



提供:JR東海

▲リニア中央新幹線
西尾工区本坑掘削工(春日井市)



▲中部国際空港の将来構想



▲二級河川柳生川(豊橋市)
地下河川(発進立坑)の整備

「あいちを守る」の取組では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、想定を上回る事業費を確保できており、河川の整備や河川・海岸施設の耐震化など、見通しを大幅に上回る進捗が図られた。

あいちが輝く

地域の魅力向上に資する道路や港湾の整備、快適な生活空間を創出する下水道や県営住宅の整備、自然環境の保全・創出のため海域環境の改善や生物多様性の確保に向けた取組、脱炭素化を図るため矢作川カーボンニュートラルプロジェクトの取組や港湾及び空港における計画検討を推進した。

取組を支える方策

建設現場の生産性や安全性向上のため、ICT活用工事や遠隔臨場活用工事の普及拡大など、建設部門DX推進行動計画に基づく取組を進めた。また、建設業の働き方改革と担い手確保のため、施工時期の平準化や週休2日制工事の更なる拡大などを進めるとともに、建設事業やプロジェクトの魅力を広く発信するため、YouTubeチャンネルを開設した。



▲神戸川水門(半田市)の耐震化



▲共同汚泥処理施設の運用
衣浦西部浄化センター(半田市)



▲ICT建設機械による施工



▲前芝大橋(豊橋市)の耐震補強



▲県営鷺塚住宅(碧南市)の整備



▲YouTube動画の配信

取組指標 進捗状況一覧

1. あいちを高める

■ : 2021年度 ■ : 2022年度

取組方針	分野	No.	指 標	策定時	2022年度末 実績	目標に対する達成割合 (%)					目標 [2025]	
						0	20	40	60	80		100
陸・海・空 一体の 国際競争力の 強化	道路	1	空港・港湾へのアクセス道路の整備延長	—	0.4km	■						10.3km
		2	生産拠点への物流等を支える道路の整備延長	—	4.6km	■	■					10.2km
	港湾	3	衣浦港・三河港の岸壁整備率	62.6%	66.0%	■						85.2%
		4	衣浦港・三河港のふ頭用地整備率	72.7%	89.2%	■	■					99.4%
	公園	5	愛・地球博記念公園の来園者数	156万人	180万人	■	■					280万人
地域の 活性化	道路	6	都市間・地域内の連携・交流を強化する道路の整備延長	—	16.2km	■	■					49.6 km
	鉄道	7	事業区間内線路の高架切替率	15.4%	23.1%	■	■					30.8%
	公園	8	民間活力を導入した施設の設置率	28.6%	42.9%	■						85.7%

2. あいちを守る

取組方針	分野	No.	指 標	策定時	2022年度末 実績	目標に対する達成割合 (%)					目標 [2025]	
						0	20	40	60	80		100
地震・津波 対策	道路	9	緊急輸送道路の橋梁の耐震補強率	28%	31.5%	■	■					46.5%
		10	緊急輸送道路の整備延長	—	12.6km	■	■					46.3km
	港湾	11	港湾施設（大型荷役機械）の耐震化率	0%	完了済	■	■	■	■	■	■	100%
	漁港	12	漁港施設の耐震・耐津波強化率	41.8%	73.6%	■	■					100%
	河川 海岸	13	河川・海岸堤防の耐震化率	67.8%	75.1%	■	■	■				75.2%
		14	河川・海岸水門等の耐震化率	75.1%	82.3%	■	■					86.8%
		15	河川・海岸水門の自動閉鎖化等の実施率	43.3%	60.0%	■	■					76.7%
	下水	16	下水処理場の耐震化率	75%	78.1%	■						85.1%
	建築	17	県有施設非構造部材等耐震対策（特定天井脱落対策）の実施率	42%	75.0%	■	■					100%
	道路	18	緊急輸送道路の無電柱化の実施延長	32.5km	66.6km	■	■					[47.2km] 115.5km
公園	19	広域防災活動拠点となる県営都市公園の整備率	64.3%	65.2%	■						70.3%	
風水害 対策	河川	20	河川の整備率	16.9%	19.5%	■	■	■	■	■	■	18.7%
	海岸	21	河川・海岸堤防の耐震化率【再掲No13】	67.8%	75.1%	■	■	■				75.2%
	砂防	22	要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設整備率	22%	23.5%	■	■					26%
		23	土砂災害警戒区域における基礎調査（繰返し調査）の実施率	0%	94.5%	■	■	■	■	■	■	100%
	道路	24	緊急輸送道路の落石等危険箇所の対策実施率	50%	53.4%	■	■					56.2%
インフラ 老朽化対策	道路	25	機能に支障が生じる前の予防保全的な修繕実施率（橋梁）	0%	6.1%	■	■					16.1%
	河川 海岸	26	河川・海岸水門等の老朽化対策率	26.2%	37.6%	■	■					72.5%

取組指標 進捗状況一覧

2. あいちを守る

2021年度 2022年度

取組方針	分野	No.	指標	策定時	2022年度末実績	目標に対する達成割合 (%)					目標 [2025]	
						0	20	40	60	80		100
インフラ 老朽化対策	砂防	27	健全度評価で要対策となった砂防関係施設の改築・修繕工事の実施率	1%	14.1%							19.6%
	下水	28	ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策の実施流域数	—	8流域							8流域
	漁港	29	老朽化に対する漁港施設の健全率	95.5%	98.0%							100%
	公園	30	老朽化した都市公園施設（遊具）の更新率	0%	22.7%							100%
	住宅	31	県営住宅の長寿命化改善工事の実施戸数	—	799戸							875戸
交通事故 対策	道路	32	事故危険箇所における死傷事故抑止率 （事故危険箇所における対策箇所数）	—	20箇所							157箇所
		33	子どもが日常的に移動する経路における危険箇所の対策実施率	67%	98.1%							100%
山間・離島 対策	道路	34	山間地域における道路整備延長	—	2.7km							20.7km
	漁港	35	漁港施設の耐震・耐津波強化率【再掲No12】	41.8%	73.6%							100%

3. あいちが輝く

取組方針	分野	No.	指標	策定時	2022年度末実績	目標に対する達成割合 (%)					目標 [2025]	
						0	20	40	60	80		100
地域の 魅力向上	道路	36	観光地へのアクセス道路の整備延長	—	3.3km							4.9km
	港湾	37	三河港蒲郡地区の岸壁整備率	86.8%	完了済							100%
		38	三河港蒲郡地区のふ頭用地整備率	86.2%	90.7%							100%
	公園	39	県営都市公園における利用促進協議会の設置率	80%	完了済							100%
快適な生活 空間の創出	下水	40	下水道普及率	79.3%	81.0%							84.6%
		41	汚水処理の広域化の実施率	0%	85.0%							100%
		42	共同汚泥処理実施箇所数	—	1箇所							1箇所
	住宅	43	県営住宅の建替工事の実施戸数	—	640戸							1,750戸
自然環境の 保全・創出	港湾	44	港湾緑地の整備率	22.1%	27.2%							29.5%
		45	三河湾の干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡埋戻しの実施率	61.8%	67.8%							62.7%
	公園	46	県営都市公園における生物多様性の保全再生活動達成率	90%	136.0%							95.0%
	下水	47	下水道普及率【再掲No40】	79.3%	81.0%							84.6%
循環型社会の 構築	下水	48	下水道エネルギー活用施設数	3施設	4施設							5施設

取組を支える方策

取組を 支える方策	分野	No.	指標	策定時	2022年度末実績	目標に対する達成割合 (%)					目標 [2025]	
						0	20	40	60	80		100
社会資本整備 のデジタル化	全般	49	ICTを活用した工事の実施率	21%	76.2%							100%

指標 No.1 空港・港湾へのアクセス道路の整備延長

【道路建設課】

空港・港湾などの国際物流・交流拠点と連携したアクセス道路の整備を進めるなど、陸・海・空一体となった広域交通ネットワークの強化に取り組んでいく。

－（策定時）→10.3km（2025年度）

実績及び見通し

年度		進捗 ※（ ）内は目標に対する達成割合					2025年度 （目標）
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
空港・港湾へのアクセス 道路の整備延長	策定時の 見通し	0.0km (0%)	0.4km (4%)	6.7km (65%)	6.7km (65%)	10.3km (100%)	10.3km
	実績	0.0km (0%)	0.4km (4%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(国)247号衣浦大橋左折専用橋で計0.4km開通し、見通し通りの進捗が図られた。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)151号一宮BP (豊川市)	工事 用地補償
(国)247号碧南拡幅 (碧南市)	工事
(国)247号衣浦大橋 左折専用橋 (高浜市・半田市)	工事



(国)247号 衣浦大橋左折専用橋(高浜市・半田市)

指標 No.2 生産拠点への物流等を支える道路の整備延長

【道路建設課】

工業団地の造成など民間投資と連携したアクセス道路の整備や、産業集積地における幹線道路ネットワークの強化、高規格幹線道路等へのアクセス道路の整備に取り組んでいく。

－(策定時)→10.2km(2025年度)

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
生産拠点への物流等を 支える道路の整備延長	策定時の 見通し	2.0km (20%)	5.1km (50%)	7.3km (72%)	9.5km (93%)	10.2km (100%)	10.2km
	実績	2.4km (24%)	4.6km (45%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(一)西尾幡豆線など計2.2km開通した。

工事に伴う迂回路計画の見直しに時間を要するなど整備の遅延により、見通しを下回る結果となったが、工程の見直しなどにより、目標達成できる見込みである。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)301号松平BP (豊田市)	工事
(国)419号四郷拡幅 (豊田市)	工事 用地補償
(一)西尾幡豆線 (西尾市)	工事



(国)301号松平BP
(豊田市)



(一)西尾幡豆線
(西尾市)

指標 No.3 衣浦港・三河港の岸壁整備率※

【港湾課】

本県が強い産業競争力で日本の経済と産業の成長を牽引できるよう、船舶の大型化や取扱貨物の増加に対応した岸壁などの施設整備に取り組んでいく。

62.6% (策定時) → 85.2% (2025年度)

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(岸壁延長)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(岸壁延長)の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
衣浦港・三河港の岸壁 整備率	策定時の 見通し	66.0% (15%)	66.0% (15%)	72.4% (43%)	78.8% (72%)	85.2% (100%)	85.2%
	実績	66.0% (15%)	66.0% (15%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は三河港田原地区において、岸壁整備の事業化に向けて検討を行い、2023年度に事業化されることとなった。

2023年度は田原地区の岸壁整備工事に向けて前面泊地の浚渫工事と岸壁設計業務を進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

三河港田原地区岸壁 (田原市)	事業化検討
--------------------	-------



三河港田原地区(田原市)

指標 No.4 衣浦港・三河港のふ頭用地整備率※

【港湾課】

本県が強い産業競争力で日本の経済と産業の成長を牽引できるよう、船舶の大型化や取扱貨物の増加に対応したふ頭用地などの施設整備に取り組んでいく。

72.7% (策定時) → 99.4% (2025年度)

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(ふ頭用地面積)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(ふ頭用地面積)の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
衣浦港・三河港のふ頭 用地整備率	策定時の 見通し	85.1% (46%)	89.2% (62%)	94.1% (80%)	97.2% (92%)	99.4% (100%)	99.4%
	実績	80.7% (30%)	89.2% (62%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、衣浦港中央ふ頭西地区において護岸工、三河港蒲郡地区及び神野地区において舗装工を実施した。神野地区では今年度中に舗装用地整備が完了し、供用開始する見込みである。

2023年度は、各地区において引き続き整備を促進し、港湾機能の強化を図っていく。

<2022年度の主な実施箇所>

衣浦港中央ふ頭西地区 ふ頭用地(半田市)	工事
三河港蒲郡地区 ふ頭用地(蒲郡市)	工事
三河港神野地区 ふ頭用地(豊橋市)	工事



衣浦港中央ふ頭西地区(半田市) 三河港神野地区(豊橋市)

指標 No.5 愛・地球博記念公園の来園者数

【公園緑地課】

愛・地球博記念公園では、将来増加する来園者に対応した施設を整備するとともに、国内外からの多くの来園者を気持ちよくお出迎えするため老朽化した施設を改修するなど、ジブリパーク整備と連携して公園施設の整備・改修に取り組んでいく。

156万人(策定時)→280万人(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
愛・地球博記念公園の 年間来園者数	策定時の 見通し	140万人 (50%)	140万人 (50%)	200万人 (71%)	280万人 (100%)	280万人 (100%)	280万人
	実績	100万人 (36%)	180万人 (64%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、ジブリパーク3エリアの開園に合わせて北口広場の再整備や西口案内所・休憩所の建築など、公園施設の整備・改修に取り組み、2022年度の来園者数は見通しを大幅に上回った。

2023年度も引き続き、ジブリパーク全5エリアの開園に合わせた公園施設の整備・改修に取り組んでいく。

<2022年度の主な実施箇所>

北口広場	再整備工事
西口案内所・休憩所	建築工事
稲楼門広場	整備工事



北口広場再整備



稲楼門広場整備

指標 No.6 都市間・地域内の連携・交流を強化する道路の整備延長

【道路建設課・都市整備課】

都市間や地域内の連携・交流を強固なものとする道路ネットワークの整備など、交流圏域の拡大に向けた取組を進めていくとともに、日常生活を支える生活道路の整備にも取り組んでいく。

－(策定時)→49.6km(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
都市間・地域内の連携・ 交流を強化する道路の 整備延長	策定時の 見通し	5.6km (11%)	17.5km (35%)	24.0km (48%)	35.9km (72%)	49.6km (100%)	49.6km
	実績	10.5km (21%)	16.2km (33%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(一)奥田内福寺南知多線など計5.7km開通した。

用地取得や関係機関との協議に時間を要するなど整備の遅延により、見通しを下回る結果となったが、工程の見直しなどにより、目標達成できる見込みである。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(一)東海緑線 (大府市)	工事
(都)名古屋半田線 南加木屋工区 (東海市)	工事
(一)奥田内福寺南知多線 (美浜町・南知多町)	工事



(一)奥田内福寺南知多線(美浜町・南知多町)

指標 No.7 事業区間内線路の高架切替率

【都市整備課・道路建設課】

鉄道を高架化し、一定区間の踏切を除却することで、交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、鉄道駅周辺のまちづくりを進め、良好な都市基盤の整備に取り組んでいく。

15.4%(策定時)→30.8%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事業区間内線路の高架切替率	策定時の見通し	15.4% (0%)	23.1% (50%)	23.1% (50%)	23.1% (50%)	30.8% (100%)	30.8%
	実績	15.4% (0%)	23.1% (50%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、名鉄名古屋本線・三河線知立駅付近連続立体交差事業(知立市)及びJR武豊線半田駅付近連続立体交差事業(半田市)の高架本体工事などを実施し、名鉄知立駅付近では、名古屋本線(豊橋方面行き)を高架化した。

2023年度も引き続き各事業を推進する。

<2022年度の主な実施箇所>

名鉄名古屋本線・三河線 知立駅付近連続立体交差事業	高架本体工事 仮線工事
JR武豊線 半田駅付近連続立体交差事業	高架本体工事 仮線工事
名鉄名古屋本線 新清洲駅付近鉄道高架事業	設計、用地補償
名鉄尾西線 菊安賀駅付近鉄道高架事業	仮側道工事



知立駅付近連続立体交差事業



半田駅付近連続立体交差事業

指標 No.8 民間活力を導入した施設の設置率*

【公園緑地課】

これまでに整備された緑の既存ストックを地域特性などに応じて有効に活用するため、民間活力の導入による公園施設等の整備や運営管理などの推進を図っていく。

28.6% (策定時) → 85.7% (2025年度)

※県営都市公園において民間活力の導入を予定している施設数のうち、2025年度までに民間活力を導入した施設数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
民間活力を導入した施設の設置率	策定時の見通し	42.9% (25%)	42.9% (25%)	42.9% (25%)	71.4% (75%)	85.7% (100%)	85.7%
	実績	42.9% (25%)	42.9% (25%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、大高緑地プール跡地において民間活力導入に向け、Park-PFI事業者の公募を行った。

2023年度は、大高緑地プール跡地の事業者の選定及び事業実施のための協定等締結を行う。

また、新たな実現可能性の高い公園について公募をかける予定。

<2022年度の主な実施箇所>

大高緑地 (プール跡地)	公募開始
その他公園	サウンディング調査



大高緑地プール跡地(公募箇所) オバッタベッタ(Park-PFI実績)

指標 No.9 緊急輸送道路の橋梁の耐震補強率※

【道路維持課】

被災時の損傷を限定的なものに留め、速やかに通行が可能となるよう、橋梁の耐震性の強化に取り組んでいく。

28% (策定時) → 46.5% (2025年度)

※跨線橋、跨道橋、緊急輸送道路上に存在する耐震補強が必要な橋梁数のうち、2025年度までに耐震補強が完了する橋梁数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
緊急輸送道路の橋梁の 耐震補強率	策定時の 見通し	29.1% (19%)	31.5% (30%)	35.4% (48%)	39.4% (67%)	46.5% (100%)	46.5%
	実績	28.3% (15%)	31.5% (30%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度の耐震補強工事は津波浸水区域の第1次緊急輸送道路における橋梁、跨道橋等について実施し、策定時の見通し3橋に対して2021年度に完了を予定していた橋を含めて4橋が完了した。

引き続き見通しに沿って耐震補強を進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)23号 前芝大橋(豊橋市)	工事
(主)豊橋渥美線 紙田川橋(豊橋市)	工事



(国)23号
前芝大橋(豊橋市)
橋脚耐震補強工事

指標 No.10 緊急輸送道路の整備延長

【道路建設課・都市整備課】

被災時の救急活動や物資輸送を支え、被災後の社会機能を維持できるよう陸上輸送を担う緊急輸送道路の整備に取り組んでいく。

－(策定時)→46.3km(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
緊急輸送道路の整備延長	策定時の見通し	2.6km (6%)	14.4km (31%)	27.8km (60%)	33.0km (71%)	46.3km (100%)	46.3km
	実績	8.3km (18%)	12.6km (27%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(主)名古屋岡崎線など計4.3km 開通した。

工事に伴う迂回路計画の見直しに時間を要するなど整備の遅延により、見通しを下回る結果となったが、工程の見直しなどにより、目標達成できる見込みである。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(主)名古屋岡崎線 中田工区 (豊田市)	工事
(国)301号松平BP (豊田市)	工事
(国)155号信濃橋 (東海市)	工事



(主)名古屋岡崎線
中田工区
(豊田市)

指標 No.11 港湾施設(大型荷役機械)の耐震化率

【港湾課】

発災直後の避難から港湾物流機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い港湾の実現に取り組んでいく。

0%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
港湾施設(大型荷役機械)の耐震化率	策定時の見通し	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100%
	実績	100% (100%)	完了				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2021年度に三河港神野地区で、大型荷役機械の耐震化が完了しており、本指標の目標を達成した。

<2021年度の主な実施箇所>

三河港神野地区 大型荷役機械(豊橋市)	工事
------------------------	----



三河港神野地区(豊橋市)

指標 No.12 漁港施設の耐震・耐津波強化率※

【港湾課】

発災直後の避難から水産物流通機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い漁港の実現に取り組んでいく。

41.8% (策定時) → 100% (2025年度)

※耐震・耐津波性能の優先的な対策が必要な漁港施設数のうち、2025年度までに対策が完了する施設数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
漁港施設の耐震・耐津波強化率	策定時の見通し	54.0% (21%)	72.7% (53%)	77.0% (61%)	89.0% (81%)	100% (100%)	100%
	実績	61.8% (34%)	73.6% (55%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、赤羽根漁港、師崎漁港、篠島漁港及び豊浜漁港において、防波堤耐震・耐津波強化対策工事の一部を実施した。「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したこと等により見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度は、引き続き上記工事を実施する予定である。

<2022年度の主な実施箇所>

赤羽根漁港防波堤	(田原市)	工事
師崎漁港防波堤	(南知多町)	工事
篠島漁港防波堤	(南知多町)	工事
豊浜漁港防波堤	(南知多町)	工事



赤羽根漁港 防波堤 (田原市)

指標 No.13 河川・海岸堤防の耐震化率*

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、河川・海岸堤防の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。また、津波が堤防を越えた場合にも、堤防等を流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいく。

67.8% (策定時) → 75.2% (2025年度)

※津波等による浸水により甚大な被害の恐れのある区間のうち、2025年度までに耐震化が完了する河川・海岸堤防延長の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川・海岸堤防の耐震化率	策定時の見通し	71.4% (49%)	72.3% (61%)	73.3% (74%)	74.2% (86%)	75.2% (100%)	75.2%
	実績	72.0% (57%)	75.1% (98%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

<河川>

2022年度は、二級河川天白川を始めとする多数の河川で、「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したことから、計1.8kmを整備し、見通しを上回る進捗が図られた。引き続き、堤防耐震化を実施していく。

<海岸>

2022年度は、豊橋海岸を始め、計2.2kmを整備し、順調に耐震化を図った。今後も目標達成に向けて事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

二級河川 天白川 (名古屋市)	耐震化工事
二級河川 日光川 (名古屋市)	耐震化工事
豊橋海岸 (豊橋市)	耐震化工事
東浦海岸 (知多郡東浦町)	耐震化工事



日光川(名古屋市)



豊橋海岸(豊橋市)

指標 No.14 河川・海岸水門等の耐震化率※

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、老朽化が進んでいる水門等の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。

75.1%(策定時)→86.8%(2025年度)

※老朽化が進み、耐震化が必要な河川・海岸水門等の施設数のうち、2025年度までに耐震化が完了する施設数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川・海岸水門等の耐震化率	策定時の見通し	76.2% (9%)	78.5% (29%)	81.9% (58%)	84.2% (78%)	86.8% (100%)	86.8%
	実績	78.5% (29%)	82.3% (61%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

<河川>

2022年度は、高浜川水門を始め2施設の耐震化工事が完了し、見通しを上回る進捗が図られた。引き続き、水門等の耐震化を実施していく。

<海岸>

2022年度は、流作新田樋門を始め8施設の耐震化工事が完了し、見通しを上回る進捗を図った。今後も目標達成を目指し、事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

高浜川水門 (碧南市)	耐震化工事
山海川樋門 (南知多町)	耐震化工事
流作新田樋門 (高浜市)	耐震化工事
小野浦樋門 (知多郡美浜町)	耐震化工事



高浜川水門(碧南市)



山海川樋門(南知多町)

指標 No.15 河川・海岸水門の自動閉鎖化等の実施率※

【河川課・港湾課】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、津波到達時間の短い水門の自動閉鎖化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。

43.3%(策定時)→76.7%(2025年度)

※津波到達時間が短く、自動閉鎖化・遠隔操作化が必要な河川・海岸水門の施設数のうち、2025年度までに自動閉鎖化・遠隔操作化が完了する施設数の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川・海岸水門の自動 閉鎖化等の実施率	策定時の 見通し	46.7% (10%)	46.7% (10%)	66.7% (70%)	70.0% (80%)	76.7% (100%)	76.7%
	実績	56.7% (40%)	60.0% (50%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

<河川>

2022年度は、自動閉鎖化を実施していないが、引き続き、目標達成に向け、水門の自動閉鎖化を実施していく。

<海岸>

2022年度は、大浜漁港海岸水門始め2施設の自動閉鎖化工事が完了し、見通しを上回る進捗を図った。今後も目標達成を目指し、事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

大浜漁港海岸水門 (碧南市)	工事
小野浦樋門 (知多郡美浜町)	工事



大浜漁港海岸水門(碧南市)



小野浦樋門(美浜町)

指標 No.16 下水処理場の耐震化率

【下水道課】

本県の流域下水道の耐震化率が処理場で75%(2019年度末)であることを踏まえ、耐震性の不足する施設に対して、耐震化に取り組んでいく。

75%(策定時)→85.1%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
下水処理場の耐震化率	策定時の見通し	77.8% (22%)	79.5% (41%)	81.6% (63%)	83.3% (81%)	85.1% (100%)	85.1%
	実績	78.1% (25%)	78.1% (25%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、矢作川浄化センターで過年度より実施している揚水施設や管廊などの耐震工事を継続するとともに、耐震補強設計を行った。

2023年度は、引き続き矢作川浄化センターで耐震工事を継続するとともに、豊川浄化センターで揚水施設と管廊を実施予定。

<2022年度の主な実施箇所>

- ・矢作川浄化センター(西尾市)



矢作川浄化センター
揚水施設の鉄筋補強



矢作川浄化センター
管廊の鉄筋補強

指標 No.17 県有施設非構造部材等耐震対策(特定天井脱落対策)の実施率

【公共建築課】

人命保護の観点から、建築基準法が改正されたことを踏まえ、県有施設における大規模な天井の脱落対策に取り組んでいく。

42%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
県有施設非構造部材等耐震対策(特定天井脱落対策)の実施率	策定時の見通し	66.7% (43%)	75.0% (57%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100%
	実績	66.7% (43%)	75.0% (57%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、1施設の対策工事及び実施設計について、施設管理者と連絡調整することで、施設利用者への配慮も行い、見通し通り実施することができた。

本事業の最終年度となる2023年度は、施設管理者との連絡調整をより密に行い、実施予定の施設について、確実に対策工事を行う。

<2022年度の実施箇所>

愛知県口論義運動公園 (日進市)	工事
陶磁美術館 (瀬戸市)	実施設計



愛知県口論義運動公園(屋内温水プール)

指標 No.18 緊急輸送道路の無電柱化の実施延長*

【道路維持課】

魅力あふれる美しいまちなみを取り戻すとともに、安全で安心な暮らしを確保するため、「愛知県電線地中化推進協議会」などを活用し、道路管理者と電線等管理者で緊密に連携し、地元関係者の協力を得て、道路の無電柱化に取り組んでいく。

32.5km(策定時)→115.5km(2025年度)

※緊急輸送道路で2025年度までに無電柱化事業に着手する整備延長。2021年に無電柱化推進計画を策定したため、目標値を当該計画にあわせ変更【47.2km→115.5km】

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
緊急輸送道路の無電柱化の実施延長	策定時の見通し	59.8km (33%)	71.1km (46%)	80.7km (58%)	81.8km (59%)	115.5km (100%)	115.5km
	実績	64.6km (38%)	66.6km (41%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

愛知県無電柱化推進計画(2021-2025)に基づき、防災を重点項目として緊急輸送道路を中心に無電柱化を進めるため、2022年度は右記の(国)155号(一宮市)の事業に着手した。
2023年度は、新たに2工区着手することとし、無電柱化を推進する。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)155号 (一宮市)	詳細設計
------------------	------

<対策予定箇所>



(国)155号(一宮市)

指標 No.19 広域防災活動拠点となる県営都市公園の整備率※

【公園緑地課】

緑とオープンスペースを兼ね備える都市公園は、避難地、避難路あるいは救援活動の拠点として、量的拡大そのものが防災機能の増大を果たすことになるため、引き続き都市公園の整備を推進し、緑とオープンスペースの保全と創出に取り組んでいく。

64.3% (策定時) → 70.3% (2025年度)

※広域防災拠点となっている県営都市公園の都市計画決定面積のうち、2025年度までに供用する面積の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
広域防災活動拠点となる 県営都市公園の整備 率	策定時の 見通し	65.5% (20%)	66.1% (30%)	67.9% (60%)	69.1% (80%)	70.3% (100%)	70.3%
	実績	64.3% (0%)	65.2% (15%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は愛・地球博記念公園において、駐車場整備が完了し、供用を開始したのに加えて、小幡緑地や大高緑地においても供用面積の拡大図ることができた。

2023年度も引き続き、大高緑地や小幡緑地を始めとする広域防災拠点と定められた県営公園において整備を進め、避難地や避難路、救援活動の拠点となるオープンスペースの創出に取り組む。

<2022年度の主な実施箇所>

駐車場整備 (愛・地球博記念公園)	工事
管理施設整備 (小幡緑地)	工事
広場再整備 (大高緑地)	工事



駐車場整備(愛・地球博記念公園)

指標 No.20 河川の整備率※

【河川課】

県民の生命と財産を守り、安定的な経済活動を支えるよう、防災・減災が主流となる社会形成を目指し、あらゆる関係者により流域全体で対策行う「流域治水」としての洪水対策に取り組んでいく。

16.9% (策定時) → 18.7% (2025年度)

※洪水対策として河川整備計画に位置づけられた河川延長のうち、2025年度までに整備が完了する河川延長の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川の整備率	策定時の見通し	17.7% (44%)	18.0% (61%)	18.2% (72%)	18.4% (83%)	18.7% (100%)	18.7%
	実績	18.2% (72%)	19.5% (147%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、二級河川猿渡川を始め、「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したことから、4.6kmの整備を実施し、見通しを大幅に上回る進捗が図られた。

引き続き、同予算を積極的に活用するなどして、河川整備を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

一級河川 新郷瀬川 (犬山市)	工事
二級河川 天白川 (名古屋市)	工事
二級河川 猿渡川 (刈谷市)	工事
二級河川 稗田川 (高浜市)	工事



二級河川猿渡川(刈谷市)



二級河川天白川(名古屋市)

指標 No.21 河川・海岸堤防の耐震化率※ 【再掲 No.13】

県民の生命と財産を守り、安定的な産業活動を維持するため、河川・海岸堤防の耐震化など河川・海岸施設の地震・津波対策に取り組んでいく。また、津波が堤防を越えた場合にも、堤防等を流失しにくくするため、粘り強い構造への強化等に取り組んでいく。

67.8% (策定時) → 75.2% (2025年度)

※津波等による浸水により甚大な被害の恐れのある区間のうち、2025年度までに耐震化が完了する河川・海岸堤防延長の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川・海岸堤防の耐震化率	策定時の見通し	71.4% (49%)	72.3% (61%)	73.3% (74%)	74.2% (86%)	75.2% (100%)	75.2%
	実績	72.0% (57%)	75.1% (98%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

<河川>

2022年度は、二級河川天白川を始めとする多数の河川で、「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したことから、計1.8kmを整備し、見通しを上回る進捗が図られた。引き続き、堤防耐震化を実施していく。

<海岸>

2022年度は、豊橋海岸を始め、計2.2kmを整備し、順調に耐震化を図った。今後も目標達成に向けて事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

二級河川 天白川 (名古屋市)	耐震化工事
二級河川 日光川 (名古屋市)	耐震化工事
東浦海岸 (知多郡東浦町)	耐震化工事
豊橋海岸(豊橋市)	耐震化工事



日光川(名古屋市)



豊橋海岸(豊橋市)

指標 No.22 要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設整備率

【砂防課】

県民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保するため、土石流対策施設や急傾斜地崩壊防止施設などの整備による土砂災害防止対策に取り組んでいく。

22%(策定時)→26%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
要配慮者利用施設及び 避難所を保全する施設 整備率	策定時の 見通し	22.2% (6%)	23.2% (29%)	24.6% (59%)	25.9% (88%)	26% (100%)	26%
	実績	23.0% (24%)	23.5% (35%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

要配慮者利用施設及び避難所を保全する施設の整備を重点的に行うことに加え、「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したことから、2022年度は柴井区域始め2施設で整備し、見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度も、目標達成に向け、引き続き整備を推進していく。

<2022年度の主な施設整備箇所>

柴井区域 (南知多町)	がけ崩れ対策
舟山-2区域 (幸田町)	がけ崩れ対策

柴井区域(南知多町)



内海防災センター



指標 No.23 土砂災害警戒区域における基礎調査(繰返し調査)の実施率

【砂防課】

県民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保するため、土砂災害に対する警戒避難体制の強化などのソフト対策に取り組んでいく。

0%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
土砂災害警戒区域における基礎調査(繰返し調査)の実施率	策定時の見通し	20.0% (20%)	92.1% (92%)	95.1% (95%)	97.6% (98%)	100% (100%)	100%
	実績	35.7% (36%)	94.5% (95%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

過去に指定した区域を対象に、地形改変等により指定要件に変化がないか確認調査を実施している。

対象箇所が全県で約17000箇所あり、5ヶ年で完了する見込みであったが、平成30、31年度に取得した高精度航空測量成果を用いて効率的に調査を実施することができたため、見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度も引き続き調査し、地形改変等が確認された場合は、区域指定を進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

	調査対象数	2022年度実績
土砂災害警戒区域等	16989 区域	9991 区域

※土砂災害警戒区域等の指定がある市町村すべてが実施対象箇所



調査状況



調査状況

指標 No.24 緊急輸送道路の落石等危険箇所の対策実施率

【道路維持課】

大規模災害時における救援活動や物資輸送を確保するための緊急輸送道路を中心に、路線の重要度や緊急度を考慮して、落石や崩土などの道路災害を防止する落石等防止対策に取り組んでいく。

50%(策定時)→56.2%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
緊急輸送道路の落石等 危険箇所の対策実施率	策定時の 見通し	50.4% (6%)	52.3% (37%)	53.3% (52%)	54.7% (76%)	56.2% (100%)	56.2%
	実績	51.9% (30%)	53.4% (55%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、「5か年加速化対策」予算の積極的な活用により、国道257号など約17箇所について、落石等対策工事が完了し、見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度以降も継続して対策を実施し、危険箇所の解消を目指す。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)301号 (豊田市)	落石等 対策工事
(国)257号 (新城市)	落石等 対策工事



(国)301号(豊田市)



(国)257号(新城市)

指標 No.25 機能に支障が生じる前の予防保全的な修繕実施率(橋梁)※

【道路維持課】

「道路構造物長寿命化計画」に基づく点検診断、措置、記録のメンテナンスサイクルを確実に実施し、予防保全型の維持管理を推進していく。

0%(策定時)→16.1%(2025年度)

※健全度区分Ⅱ(予防保全段階)と診断された橋梁数のうち、2025年度までに修繕が完了する橋梁数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
機能に支障が生じる前の 予防保全的な修繕実 施率(橋梁)	策定時の 見通し	3.2% (20%)	6.2% (39%)	9.6% (60%)	12.9% (80%)	16.1% (100%)	16.1%
	実績	3.0% (18%)	6.1% (38%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、橋梁の主桁や床版、支承などの修繕を、90橋の見通しに対して89橋で実施した。残る橋梁については、2023年度中に対策を完了する予定である。
引き続き見通しに沿って修繕を進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

(主)名古屋中環状線 御鷹野橋(清須市)	工事
(国)247号 衣浦大橋(高浜市)	工事



施工前



施工後

(主)名古屋中環状線 御鷹野橋(清須市) 再塗装工事

指標 No.26 河川・海岸水門等の老朽化対策率

【河川課・港湾課】

「長寿命化計画」に基づく河川・海岸水門等の予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

26.2% (策定時) → 72.5% (2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
河川・海岸水門等の老朽化対策率	策定時の見通し	34.9% (19%)	44.3% (39%)	53.7% (59%)	63.1% (80%)	72.5% (100%)	72.5%
	実績	35.6% (20%)	37.6% (25%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

<河川>

2022年度は須賀川樋門で老朽化対策を実施した。今後は、2022年度に創設された「河川メンテナンス事業」を活用して、目標達成を目指す。

<海岸>

2022年度は、紺屋川樋門を始め、概ね見通しどおりの水門等で老朽化対策を実施した。今後は、「海岸メンテナンス事業」を活用して、目標達成を目指す。

<2022年度の主な実施箇所>

須賀川樋門 (東浦町)	工事
紺屋川樋門 (田原市)	工事
笠松防潮水門 (豊橋市)	工事



須賀川樋門(東浦町)



紺屋川樋門(田原市)

指標 No.27 健全度評価で要対策となった砂防関係施設の改築・修繕工事の実施率

【砂防課】

「砂防関係施設長寿命化計画」に基づく計画的な点検や緊急的に対策が必要な施設の修繕・更新など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

1%(策定時)→19.6%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
健全度評価で要対策となつた砂防関係施設の改築・修繕工事の実施率	策定時の見通し	4.9% (21%)	12.0% (59%)	14.7% (74%)	17.4% (88%)	19.6% (100%)	19.6%
	実績	9.2% (44%)	14.1% (71%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策事業を活用し、2022年度の実績としては、9箇所を実施し、見通しを上回る進捗が図られた。
2023年度の見通しでは、29箇所まで進捗する予定である。

<2022年度の主な施設整備箇所>

中洞川始め4箇所 (瀬戸市)	砂防施設
鍛冶沢区域始め5箇所 (設楽町)	急傾斜地崩壊防止施設

中洞川砂防堰堤(瀬戸市)



対策前



対策後

指標 No.28 スtockマネジメント計画に基づく老朽化対策の実施流域数

【下水道課】

長期的な施設の状態を予測し、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えた「下水道ストックマネジメント計画」に基づく計画的かつ効率的な老朽化対策の推進に取り組んでいく。

－(策定時)→8流域(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
ストックマネジメント計画 に基づく老朽化対策の実 施流域数	策定時の 見通し	8流域 (100%)	8流域 (100%)	8流域 (100%)	8流域 (100%)	8流域 (100%)	8流域
	実績	8流域 (100%)	8流域 (100%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度はストックマネジメント計画に基づき、計画的に水処理設備、ポンプ棟設備、汚泥処理設備、監視制御設備等の施設の改築更新を実施した。

2023年度もストックマネジメント計画に基づいて、計画的かつ効率的な老朽化対策の推進に取り組んでいく。

<2022年度の主な実施箇所>

- 箇所
矢作川浄化センター、境川浄化センター
衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター
豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター
日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター

- 内容
水処理設備、ポンプ棟設備、汚泥処理設備、
監視制御設備等

境川浄化センター(刈谷市) 2系汚泥ポンプ更新



着手前



完了後

指標 No.29 老朽化に対する漁港施設の健全率※

【港湾課】

漁港施設の「機能保全計画」に基づく維持・更新に係る経費の一層の軽減と平準化、点検・診断、措置、記録のメンテナンスサイクルの確実な実施による施設の安全性の確保に取り組んでいく。

95.5% (策定時) → 100% (2025年度)

※機能保全計画を策定した漁港施設数のうち、健全な施設数及び2025年度までに対策を実施した施設数の割合

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
老朽化に対する漁港施設の健全率	策定時の見通し	96.4% (20%)	97.9% (53%)	98.6% (69%)	99.3% (84%)	100% (100%)	100%
	実績	97.5% (44%)	98.0% (56%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、一色漁港の物揚場補修、篠島漁港の舗装補修など4施設において老朽化対策工事を実施した。地元及び漁業者との施工時期の調整が円滑に行うことができたことにより、見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度は、篠島漁港の物揚場補修、赤羽根漁港の橋梁補修など、3施設において老朽化対策工事を実施する予定である。

<2022年度の主な実施箇所>

一色漁港 物揚場補修 (西尾市)	工事
一色漁港 泊地浚渫 (西尾市)	工事
篠島漁港 舗装補修 (南知多町)	工事



篠島漁港 舗装補修
(南知多町)



一色漁港 泊地浚渫
(西尾市)

指標 No.30 老朽化した都市公園施設(遊具)の更新率

【公園緑地課】

「愛知県公園施設長寿命化計画」に基づく日常的な点検、法令等で定められた施設の定期点検、施設の大規模な補修・更新など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

0%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
老朽化した都市公園施設(遊具)の更新率	策定時の見通し	20.0% (20%)	30.0% (30%)	50.0% (50%)	70% (70%)	100% (100%)	100%
	実績	20.0% (20%)	22.7% (23%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、長寿命化計画に基づきあいち健康の森公園において2施設の遊具の更新工事を実施した。また、牧野ヶ池緑地や新城総合公園においては、遊具の更新に必要な設計を行った。

2023年度については、2022年度に設計した箇所の更新工事を進めるとともに、長寿命化計画及び日常点検結果に基づき、更新が必要な遊具の設計を行う予定。

<2022年度の主な実施箇所>

あいち健康の森公園 (大府市・東浦町)	工事
牧野ヶ池緑地(名古屋市)	設計
新城総合公園(新城市)	設計



あいち健康の森公園(大府市・東浦町)

指標 No.31 県営住宅の長寿命化改善工事の実施戸数

【公営住宅課】

「愛知県営住宅長寿命化計画」に基づく計画的な定期点検や修繕の実施など予防保全型の維持管理の推進に取り組んでいく。

－(策定時)→875戸(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
県営住宅の長寿命化改善工事の実施戸数	策定時の見通し	175戸 (20%)	350戸 (40%)	525戸 (60%)	700戸 (80%)	875戸 (100%)	875戸
	実績	430戸 (49%)	799戸 (91%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、中川住宅(中川区)を始め4住宅369戸の長寿命化改善工事に着手し、見通しを大幅に上回る進捗が図られた。

2023年度は、当知住宅(港区)を始め2住宅375戸の長寿命化改善工事に着手し、策定時の目標を達成する見込みである。

<2022年度の主な実施箇所>

中川住宅(中川区)	95戸
織部住宅(北区)	85戸
岡田住宅(知多市)	20戸
高針住宅(名東区)	169戸



織部住宅
長寿命化改善工事
完成予想図

指標 No.32 事故危険箇所における死傷事故抑止率

【道路維持課】

事故の発生状況やビッグデータによる潜在的な危険箇所にも注目して、交通事故の発生割合が高い区間等を事故危険箇所として抽出し、効率的・効果的な交通事故対策に取り組んでいく。

策定時から3割抑止(2025年度)

進捗管理は対策箇所数にて実施 ー(策定時)→157箇所(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事故危険箇所における 死傷事故抑止率 (対策箇所数にて 進捗を管理)	策定時の 見通し	0箇所 (0%)	29箇所 (18%)	69箇所 (44%)	111箇所 (71%)	157箇所 (100%)	3割抑止 [157箇所]
	実績	0箇所 (0%)	20箇所 (13%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、事故危険箇所の対策立案、設計を進めるとともに、事故危険箇所の対策を推進し、20か所の対策を実施した。

2023年度も引き続き対策を推進し、設計を実施した箇所の中から49箇所の事業を実施する予定。

<2022年度の主な実施箇所>

(一)江南木曾川線 (一宮市)	工事
(主)名古屋豊田線 (豊田市)	工事
他18箇所	工事



(一)江南木曾川線
(大日比野如来堂交差点)



(主)名古屋豊田線
(伊保町的場交差点)

指標 No.33 子どもが日常的に移動する経路における危険箇所の対策実施率

【道路維持課】

通学路や未就学児の園外活動ルートなど生活道路での交通安全対策の実施に取り組んでいく。

67.1%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
子どもが日常的に移動する経路における危険箇所の対策実施率	策定時の見通し	94.8% (84%)	98.1% (94%)	98.7% (96%)	99.3% (98%)	100% (100%)	100%
	実績	96.1% (88%)	98.1% (94%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

通学路交通安全プログラムに基づくものは2016年度から2022年度までに累積で141箇所の事業に着手し、未就学児の移動経路の交通安全対策については、2019年度から2022年度までに172箇所の対策を完了している。

2023年度は、通学路交通安全プログラムに基づくものとして新たに9箇所の事業に着手する予定であり、子どもが日常的に移動する経路の交通安全対策を、継続的に進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

(一)小松原二川停車場線 (豊橋市)	工事 (通学路)
(一)豊田明知線 (豊田市)	工事 (通学路)
(一)西萩原北方線 (一宮市)	工事 (未就学児)



(一)小松原二川停車場線
防護柵設置



(一)西萩原北方線(一宮市)
歩道設置

指標 No.34 山間地域における道路整備延長

【道路建設課】

山間地域における日常生活の移動や救急・消防防災活動を支え、観光・農業などの産業資源を最大限に活かすことのできる道路の整備に取り組んでいく。

－(策定時)→20.7km(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
山間地域における道路 整備延長	策定時の 見通し	1.1km (5%)	1.3km (6%)	6.4km (31%)	16.7km (81%)	20.7km (100%)	20.7km
	実績	2.7km (13%)	2.7km (13%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(主)設楽根羽線などで着実に工事を進めた。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(国)257号清崎工区 (設楽町)	工事
(主)設楽根羽線 (設楽町)	工事
(国)420号豊邦東拡幅 (新城市)	工事



(主)設楽根羽線
(設楽町)

指標 No.35 漁港施設の耐震・耐津波強化率※ 【再掲 No.12】

【港湾課】

発災直後の避難から水産物流通機能の早期復旧までを効果的に進めるとともに、耐震強化岸壁の整備促進など、被災後も社会経済活動を維持できる災害に強い漁港の実現に取り組んでいく。

41.8% (策定時) → 100% (2025年度)

※耐震・耐津波性能の優先的な対策が必要な漁港施設数のうち、2025年度までに対策が完了する施設数の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
漁港施設の耐震・耐津波強化率	策定時の見通し	54.0% (21%)	72.7% (53%)	77.0% (61%)	89.0% (81%)	100% (100%)	100%
	実績	61.8% (34%)	73.6% (55%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、赤羽根漁港、師崎漁港、篠島漁港及び豊浜漁港において、防波堤耐震・耐津波強化対策工事の一部を実施した。「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したこと等により見通しを上回る進捗が図られた。

2023年度は、引き続き上記工事を実施する予定である。

<2022年度の主な実施箇所>

赤羽根漁港防波堤 (田原市)	工事
師崎漁港防波堤 (南知多町)	工事
篠島漁港防波堤 (南知多町)	工事



赤羽根漁港 防波堤(田原市)

指標 No.36 観光地へのアクセス道路の整備延長

【道路建設課】

観光交流の活性化を図るため、観光客の移動円滑化などに寄与するアクセス道路の整備に取り組んでいく。

－(策定時)→4.9km(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
観光地へのアクセス道路の整備延長	策定時の見通し	2.2km (45%)	3.3km (67%)	3.3km (67%)	4.9km (100%)	4.9km (100%)	4.9km
	実績	0km (0%)	3.3km (67%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、(主)岡崎足助線など計3.3km開通し、見通し通りの進捗が図られた。

2023年度も引き続き同様な方針で整備を進め、計画的に事業完了が図られるよう、戦略的に事業を実施していく。

<2022年度の主な実施箇所>

(主)岡崎足助線 (岡崎市)	工事
(一)宮上知立線 (豊田市・刈谷市)	工事
(一)瀬戸設楽線 (瀬戸市)	工事



(一)宮上知立線
(豊田市・刈谷市)

指標 No.37 三河港蒲郡地区の岸壁整備率※

【港湾課】

訪日外国人旅行客に加え、日本人観光客や地域住民にとっても美しく快適な港湾空間の創出に取り組んでいく。

86.8% (策定時) → 100% (2025年度)

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(岸壁延長)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(岸壁延長)の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
三河港蒲郡地区の岸壁 整備率	策定時の 見通し	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100%
	実績	100% (100%)	完了				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2021年度に三河港蒲郡地区で、岸壁の整備が完了し、本指標の目標を達成した。

<2021年度の主な実施箇所>

三河港蒲郡地区岸壁
(蒲郡市)

工事



三河港蒲郡地区(蒲郡市)

指標 No.38 三河港蒲郡地区のふ頭用地整備率※

【港湾課】

訪日外国人旅行客に加え、日本人観光客や地域住民にとっても美しく快適な港湾空間の創出に取り組んでいく。

86.2% (策定時) → 100% (2025年度)

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(ふ頭用地面積)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(ふ頭用地面積)の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
三河港蒲郡地区のふ頭 用地整備率	策定時の 見通し	87.3% (7%)	90.7% (32%)	94.1% (57%)	97.5% (82%)	100% (100%)	100%
	実績	87.3% (7%)	90.7% (32%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、蒲郡地区において護岸工を実施し、見通しどおりの進捗が図られた。
2023年度も、引き続き整備を促進し、港湾機能の強化を図っていく。

<2022年度の主な実施箇所>

三河港蒲郡地区 ふ頭用地(蒲郡市)	工事
----------------------	----



三河港蒲郡地区(蒲郡市)

指標 No.39 県営都市公園における利用促進協議会の設置率

【公園緑地課】

県営都市公園における地域との交流や振興を図ることを目的とした地元や周辺自治体などによる利用促進協議会の設立の促進に取り組んでいく。

80%(策定時)→100%(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
県営都市公園における 利用促進協議会の設置率	策定時の 見通し	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100%
	実績	100% (100%)	完了				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2021年度に予定していた全5公園で協議会の設置が完了した。

現在、各協議会では利用促進の活動を実施しており、2022年度は油ヶ淵水辺公園ではイベント「油ヶ淵の夏」を開催し、木曾川祖父江緑地では、隣接3公園の管理者(国、県、市)で組織する実行委員会により共同イベントを開催した。

2023年度も引き続き利用促進を目的とした活動に取り組んでいく。

<2022年度時点の実施公園>

公園名
木曾川祖父江緑地
油ヶ淵水辺公園
東三河ふるさと公園
新城総合公園
あいち健康の森公園



イベント名:油ヶ淵の夏

指標 No.40 下水道普及率

【下水道課】

「全県域汚水適正処理構想※」に基づき、下水道未整備地域の早期解消に向けた取組を加速していくとともに、市町と一体となった効率的な流域下水道の整備を推進していく。

79.3% (策定時) → 84.6% (2025年度)

※本県において、下水道、農業・漁業集落排水、コミュニティプラント及び合併浄化槽など、それぞれの汚水処理施設が、適切な役割分担のもと、事業を実施するため、各汚水処理施設の有する特性や水環境の保全効果、地域特性や経済性等を、総合的に判断し、効率的な整備・運営手法を選定するための構想

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
下水道普及率	策定時の 見通し	80.3% (19%)	81.3% (38%)	82.4% (59%)	83.5% (79%)	84.6% (100%)	84.6%
	実績	80.6% (25%)	81.0% (32%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

下水道整備の進捗により、2022年度末の下水道普及率は81.0%となった。引き続き市町による下水道整備を推進し、未整備地域の早期解消に向けた取組を推進していく。



新川西部
流域下水道
(清須市)
管渠整備



境川浄化センター
(刈谷市)
処理場増設

指標 No.41 汚水処理の広域化の実施率*

【下水道課】

持続可能な下水道事業の運営を目指すため、流域下水道を核とした汚水処理施設の統廃合を推進し、下水道事業における広域化に取り組んでいく。

0% (策定時) → 100% (2025年度)

※2025年度までに流域下水道に接続する計画がある汚水処理施設数のうち、接続が完了する汚水処理施設数の割合

実績及び見通し

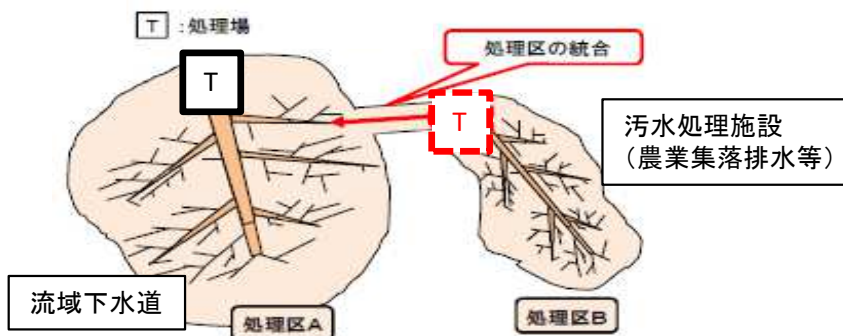
年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
汚水処理の広域化の実施率	策定時の見通し	77.8% (78%)	83.3% (83%)	100% (100%)	100% (100%)	100% (100%)	100%
	実績	80.0% (80%)	85.0% (85%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、幸田町の農業集落排水施設を矢作川流域下水道へ編入する施設の統廃合を実施した。2023年度も引き続き、農業集落排水施設等の改築・更新時期等に合わせた汚水処理施設の統廃合を進めていく。

<2022年度の主な実施箇所>

農業集落排水 (幸田町)	矢作川流域下水道へ 編入
-----------------	-----------------



指標 No.42 共同汚泥処理実施箇所数

【下水道課】

持続可能な下水道事業の運営を目指すため、流域下水道と単独公共下水道等の汚泥を集約処理する共同汚泥処理事業の推進に取り組んでいく。

0箇所(策定時)→1箇所(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
共同汚泥処理実施箇所数	策定時の見通し	0箇所 (0%)	1箇所 (100%)	1箇所 (100%)	1箇所 (100%)	1箇所 (100%)	1箇所
	実績	0箇所 (0%)	1箇所 (100%)	完了			

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度から、常滑市、東海市、知多市の浄化センターで発生する汚泥を衣浦西部浄化センターの汚泥とあわせて処理する施設の運転管理を開始した。
2023年度も、施設を運転管理し、3市と衣浦西部浄化センターの汚泥を安定して処理する。

<2022年度の主な実施箇所>

衣浦西部浄化センター (半田市)	2022年度から 運転開始
---------------------	------------------



衣浦西部浄化センター
共同汚泥処理施設
(半田市)

指標 No.43 県営住宅の建替工事の実施戸数

【公営住宅課】

住宅確保要配慮者が、それぞれの必要な広さや設備を備えた、適切な住宅を確保できるよう、住宅セーフティネットの中核をなす県営住宅の適切な供給に取り組んでいく。

－(策定時)→1,750戸(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
県営住宅の建替工事の 実施戸数	策定時の 見通し	350戸 (20%)	700戸 (40%)	1,050戸 (60%)	1,400戸 (80%)	1,750戸 (100%)	1,750戸
	実績	257戸 (15%)	640戸 (37%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、鳴海住宅(緑区)始め5住宅383戸の建替工事に着手した。

前年度の257戸を100戸以上上回る実績となり、合計戸数では策定時の見通しを概ね達成している。

2023年度は、平針住宅(天白区)始め3住宅277戸の建替工事に着手していく。また、翌年度以降の着手に向け、設計や地質調査などの準備を進める。

<2022年度の主な実施箇所>

西口住宅(豊橋市)	56戸
鳴海住宅(緑区)	112戸
上和田住宅(岡崎市)	93戸
原山台住宅(瀬戸市)	80戸
清水住宅(東海市)	42戸



鳴海住宅
建替工事
完成予想図

指標 No.44 港湾緑地の整備率※

【港湾課】

臨海部において交流・憩いの場となる港湾緑地の整備推進に取り組んでいく。

22.1% (策定時) → 29.5% (2025年度)

※港湾計画に位置づけられた優先的に整備する施設(緑地面積)のうち、2025年度までに整備が完了する施設(緑地面積)の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
港湾緑地の整備率	策定時の見通し	24.8% (37%)	27.2% (69%)	28.0% (80%)	28.9% (92%)	29.5% (100%)	29.5%
	実績	26.0% (53%)	27.2% (69%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、東浦緑地については、四阿等の修景施設を始めとする広場整備を実施し、事業完了した。御津緑地については、車道や駐車場の整備を実施した。

2023年度は、御津緑地の事業完了に向けて引き続き緑地整備を進める。

<2022年度の主な実施箇所>

東浦緑地 (東浦町)	工事
御津緑地 (豊川市)	工事



東浦緑地(東浦町)



御津緑地(豊川市)

指標 No.45 三河湾の干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡埋戻しの実施率※

【港湾課】

物流・生産といった地域の経済活動を支える開発などで発生した海域の深掘れ跡の埋戻しや干潟・浅場造成、覆砂による海域環境の改善対策の推進に取り組んでいく。

61.8% (策定時) → 62.7% (2025年度)

※三河湾の覆砂、深掘跡埋戻し必要土量のうち、2025年度末までに施工された土量の割合

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
三河湾の干潟・浅場造成、覆砂、深掘跡埋戻しの実施率	策定時の見通し	62.0% (22%)	62.2% (44%)	62.4% (67%)	62.5% (78%)	62.7% (100%)	62.7%
	実績	67.0% (578%)	67.8% (667%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、事業に必要な土砂を見通し以上に確保出来た事により、大塚地区の覆砂を実施し、2025年目標値を上回る進捗が図られた。

2023年は引き続き大塚地区の覆砂の進捗を図る。

<2022年度の主な実施箇所>

覆砂 (大塚地区)	工事
--------------	----



大塚地区 覆砂位置



覆砂の作業状況

指標 No.46 県営都市公園における生物多様性の保全再生活動達成率

【公園緑地課】

多様な主体との協働による県営都市公園の生物の生息生育空間の保全・再生・創出の推進に取り組んでいく。

90% (策定時) → 95.0% (2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
県営都市公園における 生物多様性の保全再生 活動達成率	策定時の 見通し	91.0% (20%)	92.0% (40%)	93.0% (60%)	94.0% (80%)	95.0% (100%)	95.0%
	実績	145% (1100%)	136% (920%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は、大高緑地、牧野ヶ池緑地および愛・地球博記念公園において、竹林保全整備、樹林環境保全整備活動が活発に行われ、2025年目標値を上回る進捗が図られた。

2023年度の見通しについて、引き続き、市民団体等が主体的に取り組む生物多様性の保全再生活動の推進に取り組んでいく。

<2022年度の主な実施箇所>

大高緑地、牧野ヶ池緑地、小幡緑地、新城総合公園、あいち健康の森公園、東三河ふるさと公園、愛・地球博記念公園、油ヶ淵水辺公園



竹林保全整備活動(大高緑地)

指標 No.47 下水道普及率【再掲 No.40】

【下水道課】

「全県域污水適正処理構想※」に基づき、下水道未整備地域の早期解消に向けた取組を加速していくとともに、市町と一体となった効率的な流域下水道の整備を推進していく。

79.3%（策定時）→84.6%（2025年度）

※本県において、下水道、農業・漁業集落排水、コミュニティプラント及び合併浄化槽など、それぞれの污水处理施設が、適切な役割分担のもと、事業を実施するため、各污水处理施設の有する特性や水環境の保全効果、地域特性や経済性等を、総合的に判断し、効率的な整備・運営手法を選定するための構想

実績及び見通し

年 度		進 捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
下水道普及率	策定時の見通し	80.3% (19%)	81.3% (38%)	82.4% (59%)	83.5% (79%)	84.6% (100%)	84.6%
	実績	80.6% (25%)	81.0% (32%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

下水道整備の進捗により、2022年度末の下水道普及率は81.0%となった。引き続き市町による下水道整備を推進し、未整備地域の早期解消に向けた取組を推進していく。



新川西部
流域下水道
(清須市)
管渠整備



境川浄化センター
(刈谷市)
処理場増設

指標 No.48 下水道エネルギー活用施設数

【下水道課】

本県の流域下水道では、地球温暖化対策や資源・エネルギーの地産地消はもとより、下水道事業運営における維持管理コストの縮減などの役割を果たすため、下水汚泥由来の再生可能エネルギーの利活用や下水道資源の有効利用による消費エネルギー削減などに取り組んでいく。

3施設(策定時)→5施設(2025年度)

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
下水道エネルギー活用 施設数	策定時の 見通し	3施設 (0%)	4施設 (50%)	4施設 (50%)	4施設 (50%)	5施設 (100%)	5施設
	実績	3施設 (0%)	4施設 (50%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度は4施設で下水道エネルギーを活用し、安定した運転管理を行うことができた。

- ①矢作川浄化センターでメタンガスを焼却炉の燃料として利用
- ②衣浦西部浄化センターで焼却廃熱を利用して焼却炉を省電力化
- ③衣浦東部浄化センターの下水汚泥を炭化物にしてJERA碧南火力発電所で燃料利用
- ④豊川浄化センターのPFI事業でメタンガスによる発電

<2022年度の主な実施箇所>

矢作川浄化センター (西尾市)	運転管理
衣浦西部浄化センター (半田市)	2022年度から 運転開始
衣浦東部浄化センター (碧南市)	運転管理
豊川浄化センター (豊橋市)	運転管理



豊川浄化センター
(豊橋市)
発電施設

指標 No.49 ICTを活用した工事の実施率※

【建設企画課】

ICT施工や調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの建設生産プロセス全体における3次元データの活用などのi-Constructionの取組を一層推進していく。

21%（策定時）→100%（2025年度）

※土工量1,000m³以上の工事のうち、ICTを活用した工事件数の割合。ただし地形など施工条件により実施効果が見込まれないものは除く。

実績及び見通し

年度		進捗 ※()内は目標に対する達成割合					2025年度 (目標)
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
ICTを活用した工事の実 施率	策定時の 見通し	47.0% (33%)	61.0% (51%)	74.0% (67%)	87.0% (84%)	100% (100%)	100%
	実績	61.0% (51%)	76.2% (70%)				

2022年度の総括及び2023年度の見通し

2022年度に発注者指定簡易型を新設したことにより、発注者指定型全体の実施件数が増加し、実施率が76.2%と見通しを上回る進捗となった。

引き続き、愛知県 i-Construction推進協議会において業団体との意見交換を行い、制度改革や現場研修会の開催等によりICT活用工事の普及促進を図る。

<2022年度のICT土工の実施件数>

形式	件数
発注者指定型	60件
受注者希望型	39件
計	99件



ICT建設機械による施工状況（日光川）